



キュービーネットホールディングス株式会社

2021年6月期 第1四半期 決算説明資料

2020年11月13日

I 2021年6月期 第1四半期実績

II 新型コロナウイルスの影響

2021年6月期第1四半期 グループ連結業績（サマリー）

- 新型コロナウイルスの影響等により、2021年6月期第1四半期は減収減益
- 業績予想は変更無し

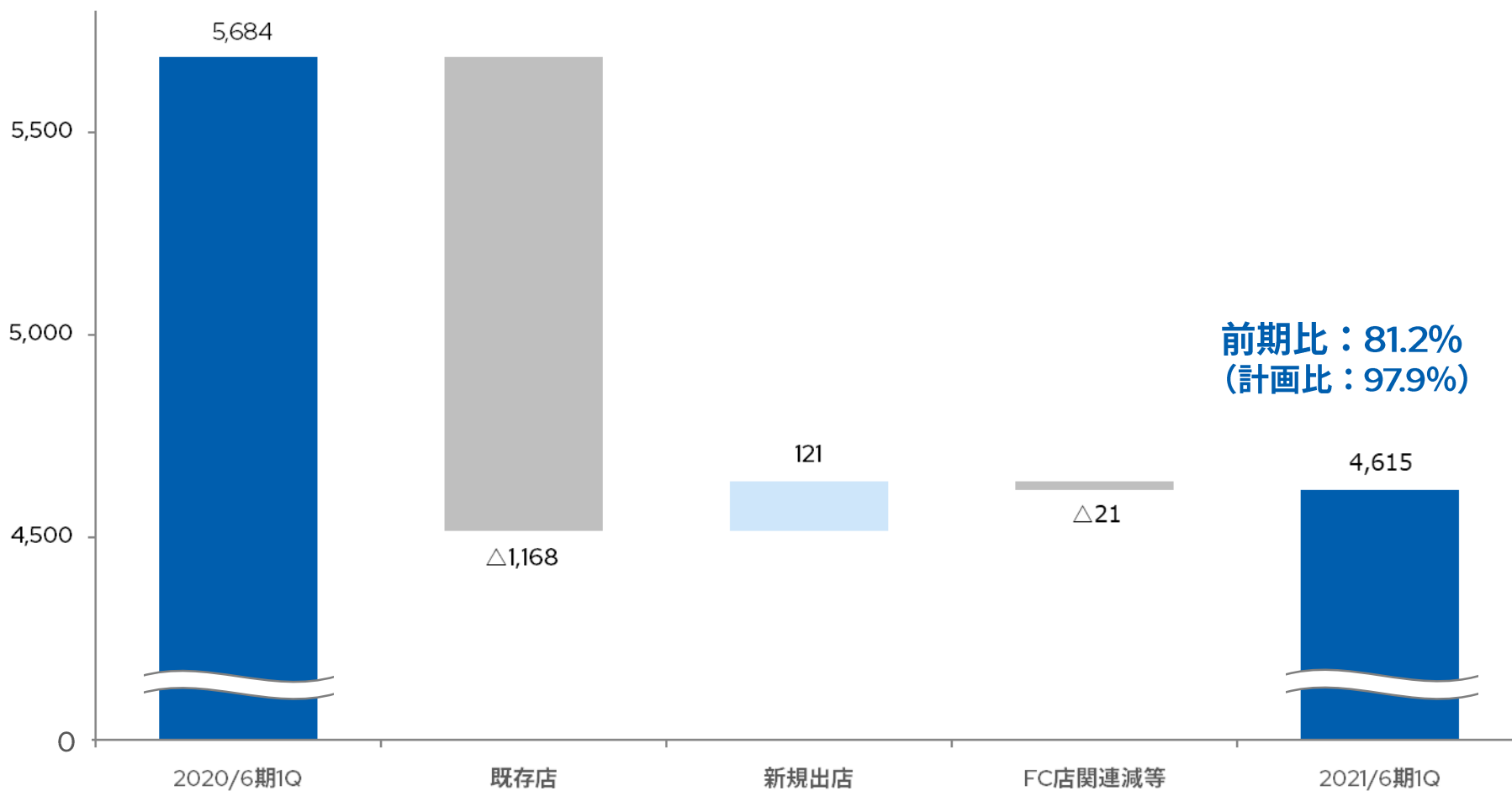
グループ連結業績（サマリー）

単位：百万円	2021年6月期第1四半期		2021年6月期上期予想			2021年6月期通期予想		
	実績	前期比 (%)	予想	前期比 (%)	進捗率	予想	前期比 (%)	進捗率
売上収益	4,615	81.2%	9,840	88.6%	46.9%	20,774	108.8%	22.2%
営業利益	445	58.1%	360	29.7%	123.7%	1,000	417.4%	44.5%
税引前利益	398	54.4%	266	23.2%	149.7%	814	829.5%	48.9%
当期利益	284	58.3%	182	23.9%	156.3%	557	533.4%	51.1%
基本的1株当たり 当期利益	22円31銭		14円22銭			42円92銭		
1株当たり配当額	—		—			未定		

売上収益の増減分析

- 売上収益は、新型コロナウイルスの影響等により、前期比1,068百万円の減収

単位：百万円



※新規出店は出店後13ヶ月未満の店舗

直営店

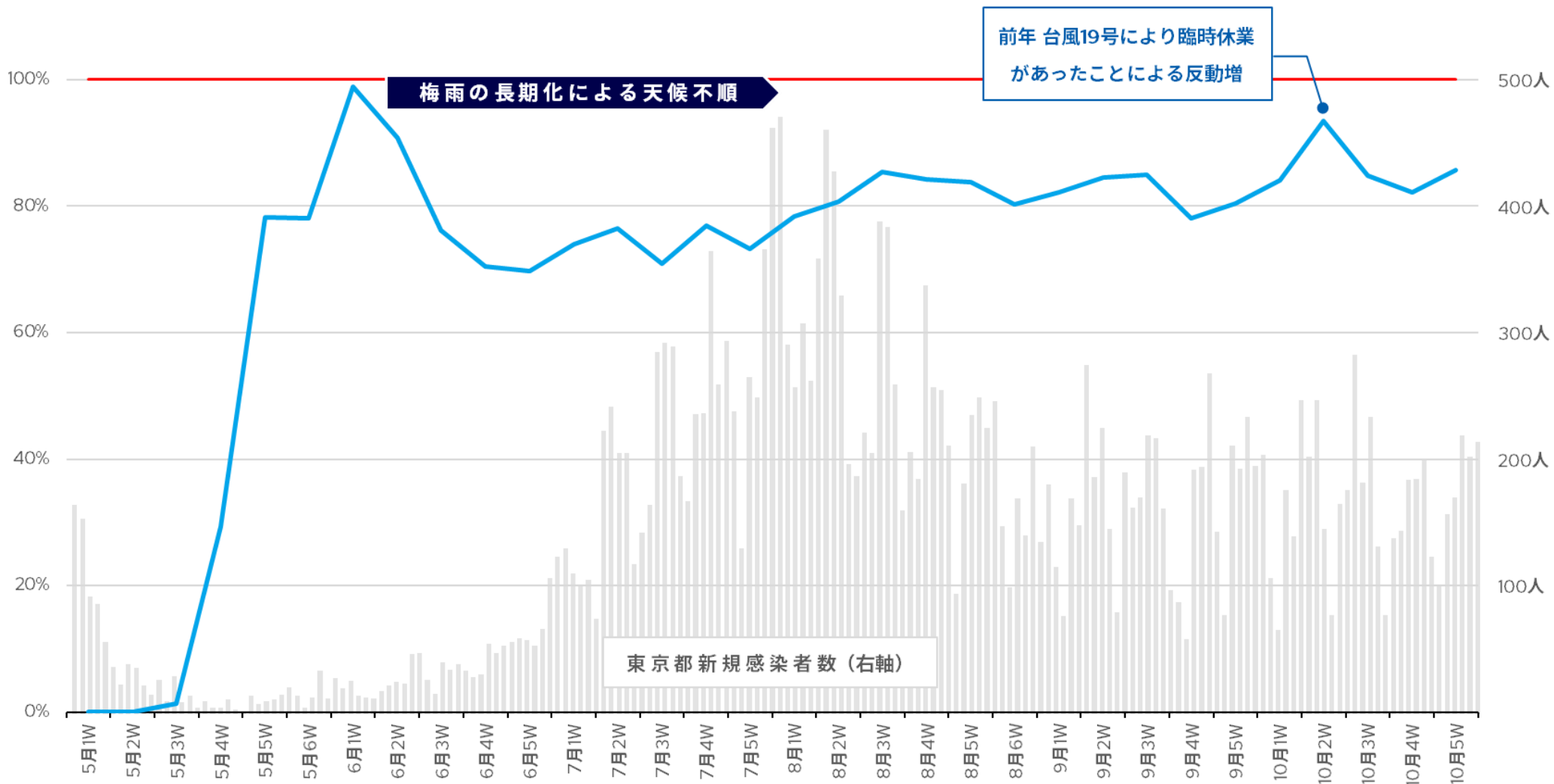
新型コロナウイルスの感染拡大に伴う流れについて

社会の動き	当社（国内）
7/4 都知事が不要不急の都外への移動自粛要請	7/1 約80%の店舗を通常営業時間へ変更
7/15 東京都4段階で最も深刻な「拡大している」	
7/23～26 東京都が不要不急の外出自粛要請	7/31 時短店舗は87店舗（約15%）
7/31～8/8 東京都の新規感染者数400人超え	8/31 時短店舗は76店舗（約13%）
9/10 東京都の警戒度1段階引き下げ	9/30 時短店舗は63店舗（約11%）
10/1 東京都がGO TO トラベル GO TO イート開始	10/31 時短店舗は55店舗（約9%）

社会の動き	当社（海外）
7/4～ 香港の1日の感染者数2桁へ増加 7/30 香港の1日の感染者数149人→9/15 0人	3/24～ 香港空港内の1店舗が営業中止命令継続
6/2～ シンガポール・フェーズ1 スタート 6/19～ シンガポール・フェーズ2 へ移行	主にシンガポールのビジネスエリアでコロナ影響
7/1～ 台湾の1日の感染者数0～7人	台湾はほぼ通常営業、新店2店舗
感染者数1,000万人超、死者数23.8万人は世界1位 ニューヨークの地下鉄の乗降客数は前年比70%減	6/22 価格改定（20ドル→23ドル 15%アップ） 9/1 オンライン時間指定予約導入

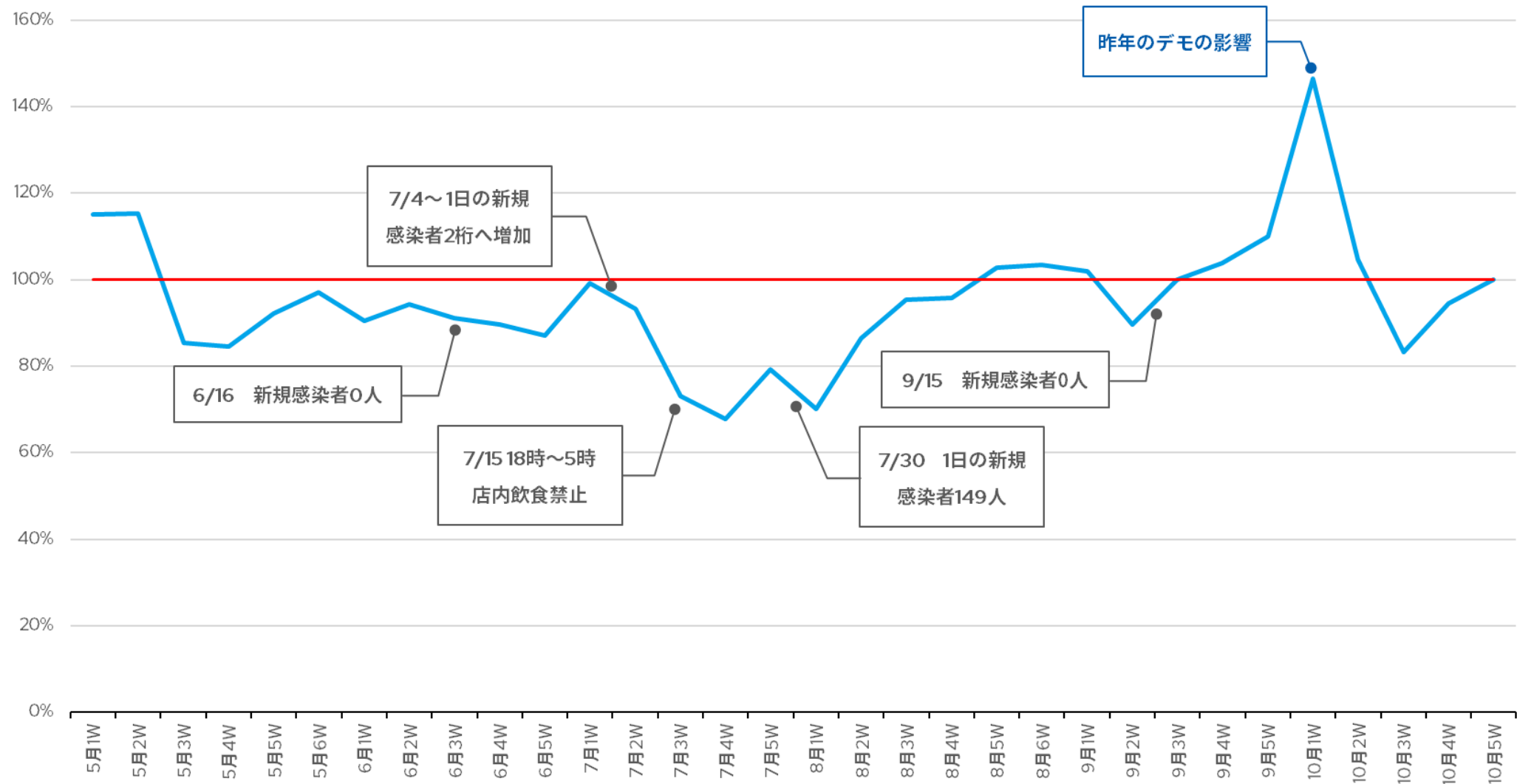
国内の来店客数前年比（新店含む・同じ曜日で比較）

主にテレワーク・外出自粛等の継続により、カットサイクルが伸びている



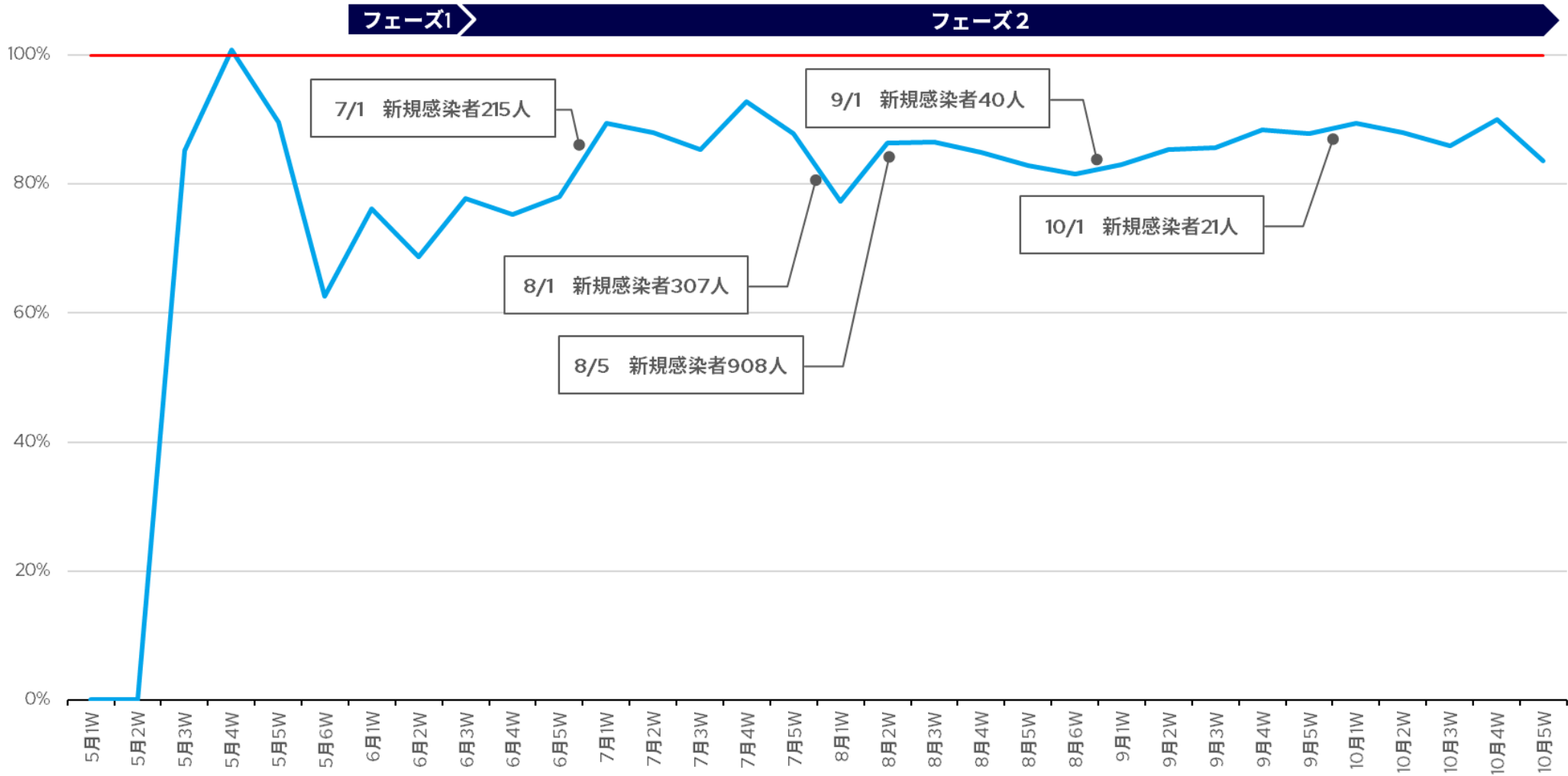
香港の来店客数前年比（新店含む・同じ曜日で比較）

— 客数は順調に回復し、コロナ影響は軽微



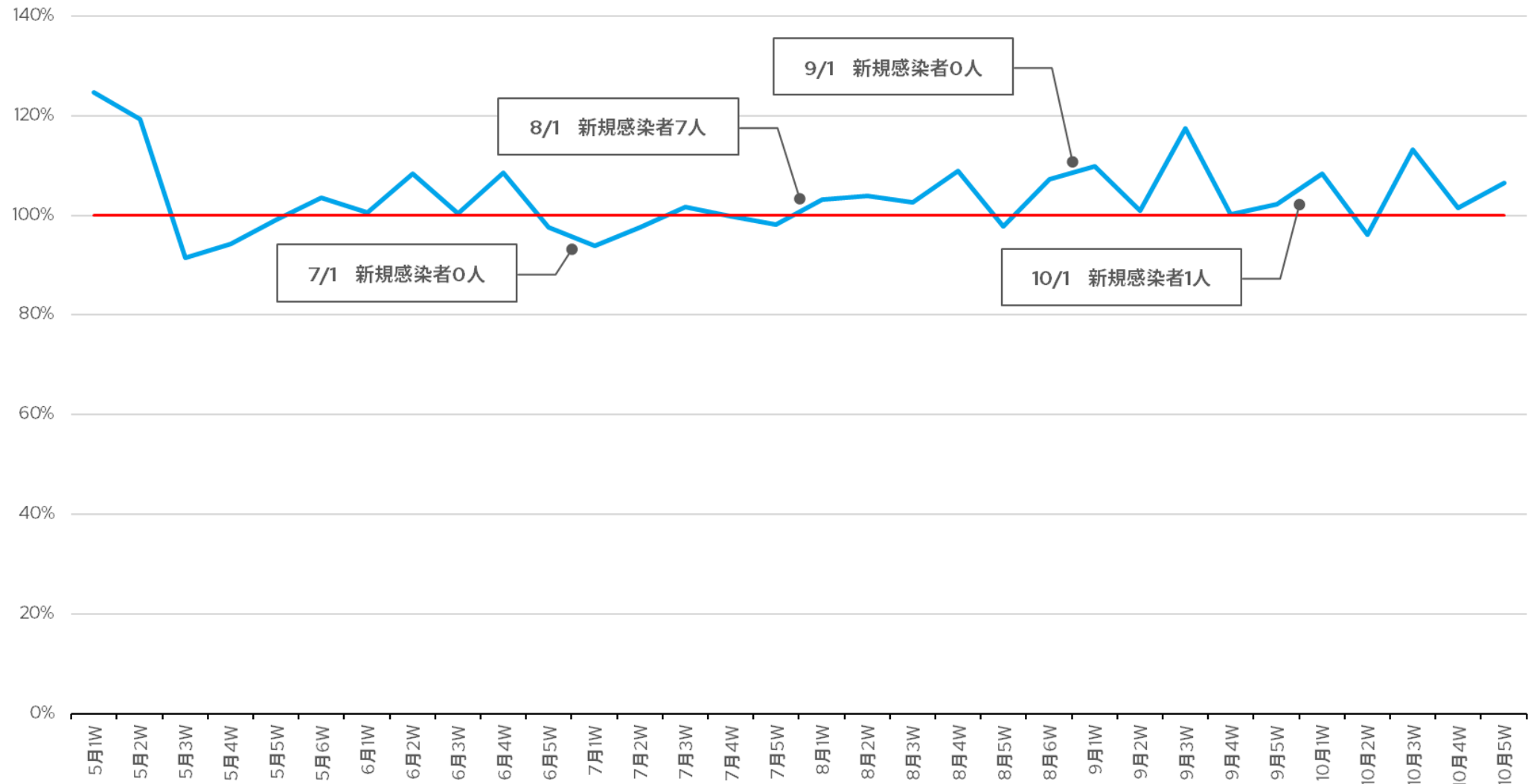
シンガポールの来店客数前年比（新店含む・同じ曜日で比較）

- 検温・Safe Distancing等の行動制限が継続中
- 中心ビジネスエリア（Central Business District）の店舗でのコロナ影響が大きい



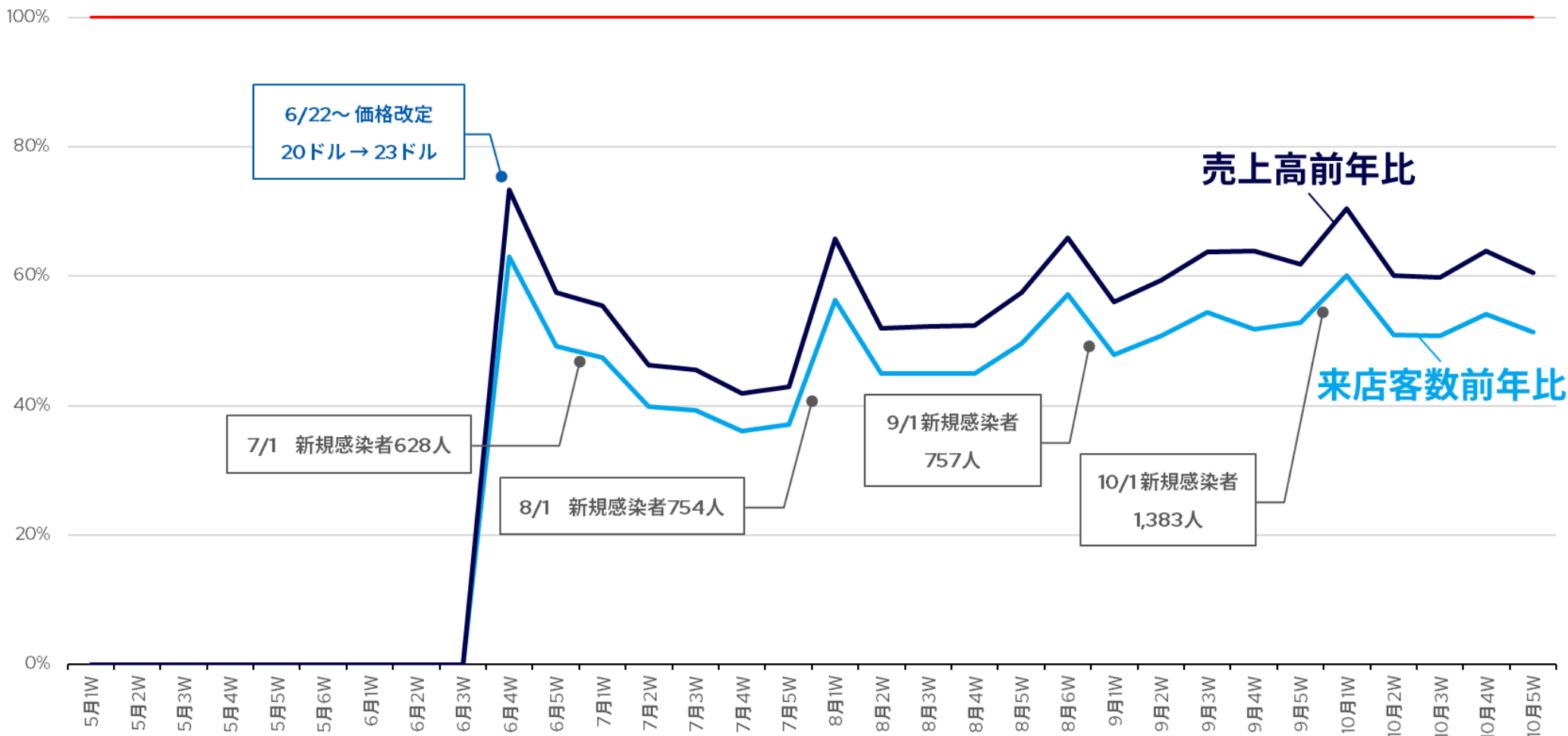
台湾の来店客数前年比（新店含む・同じ曜日で比較）

— コロナ影響は軽微



アメリカの来店客数前年比（新店含む・同じ曜日で比較）

- リモートワークが広がり、ビジネスマンは週1~2回しかマンハッタンに来ないというライフスタイルが定着化
- 価格改定実施（20\$→23\$ 15%アップ）、オンライン時間指定予約・指名制導入

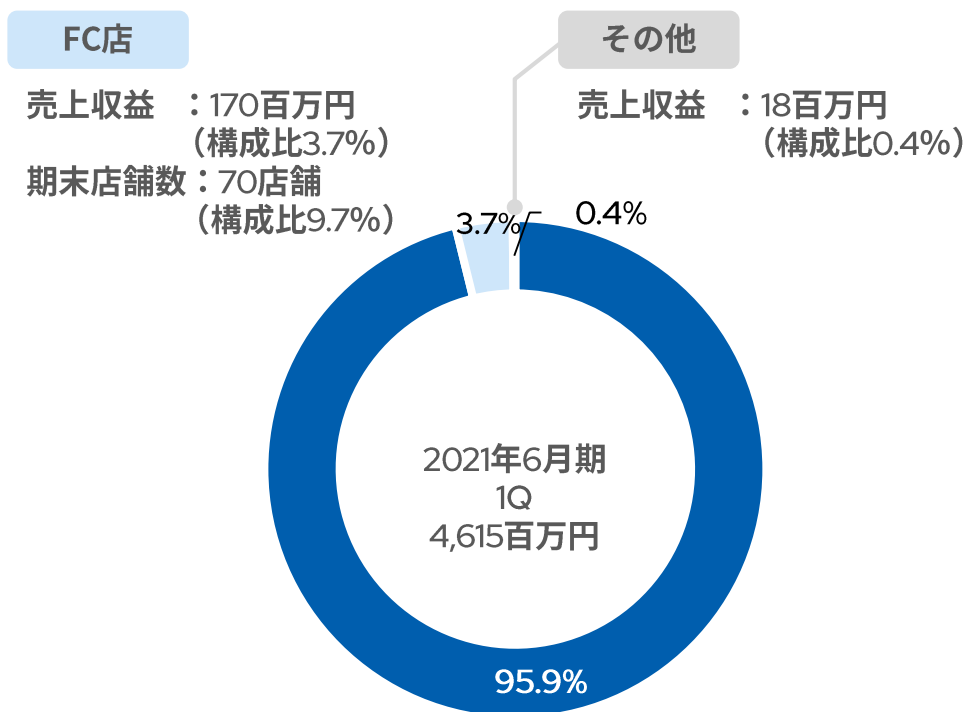


※新規感染者数はニューヨーク州のみの数字

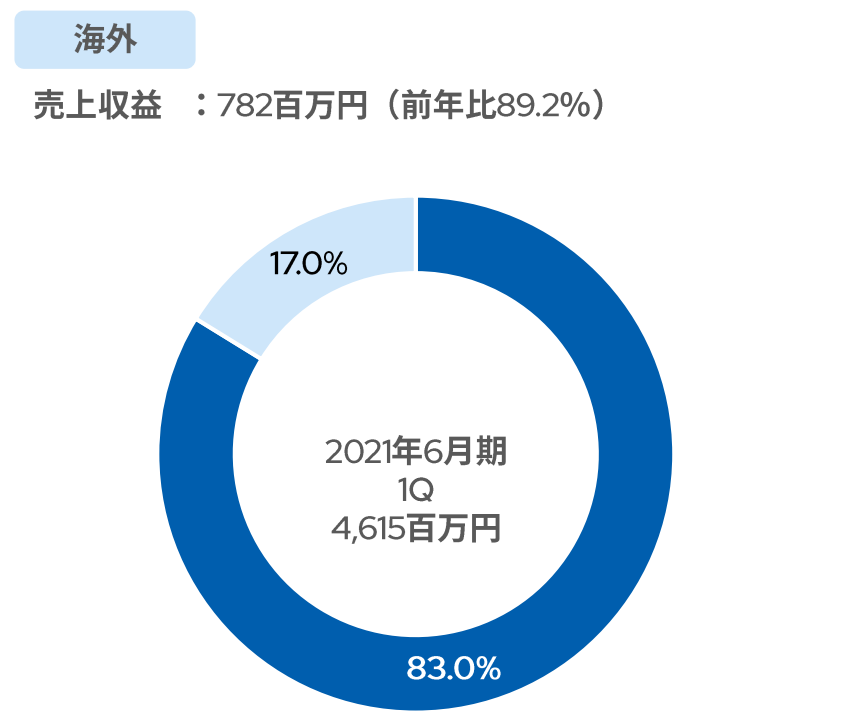
売上収益の構成

– 売上収益の直営店比率は95.9%、海外の比率は17.0%

運営形態別売上収益構成



地域別売上収益構成



直営店

売上収益 : 4,426百万円
(構成比95.9%)
期末店舗数 : 649店舗
(構成比90.3%)

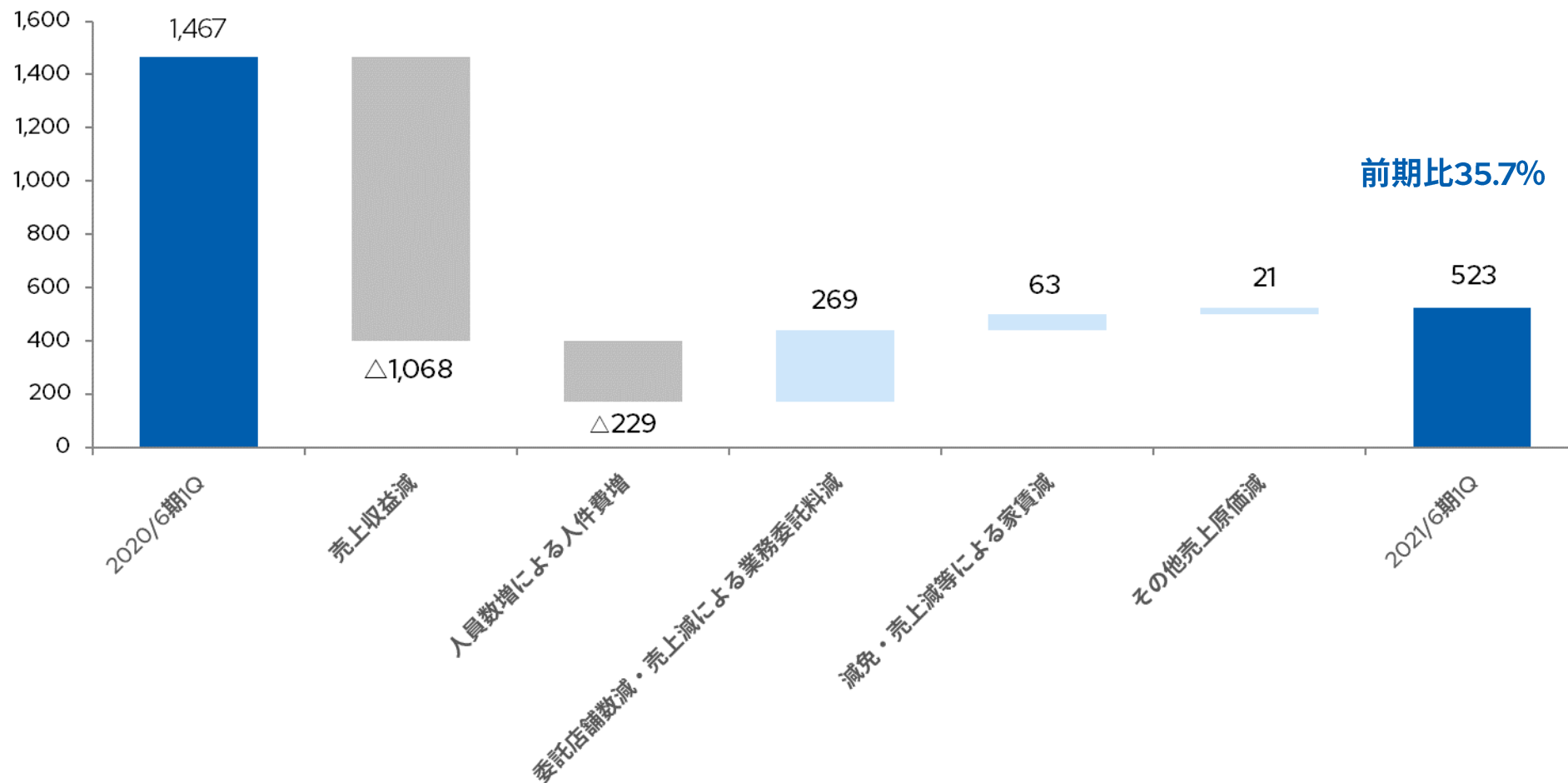
国内

売上収益 : 3,832百万円
(前年比79.7%)

売上総利益（粗利）の増減分析

- 粗利は、新型コロナウイルスの影響等による売上収益の減少があったものの、業務委託料・家賃等の店舗運営コストの低減により、523百万円の黒字を確保

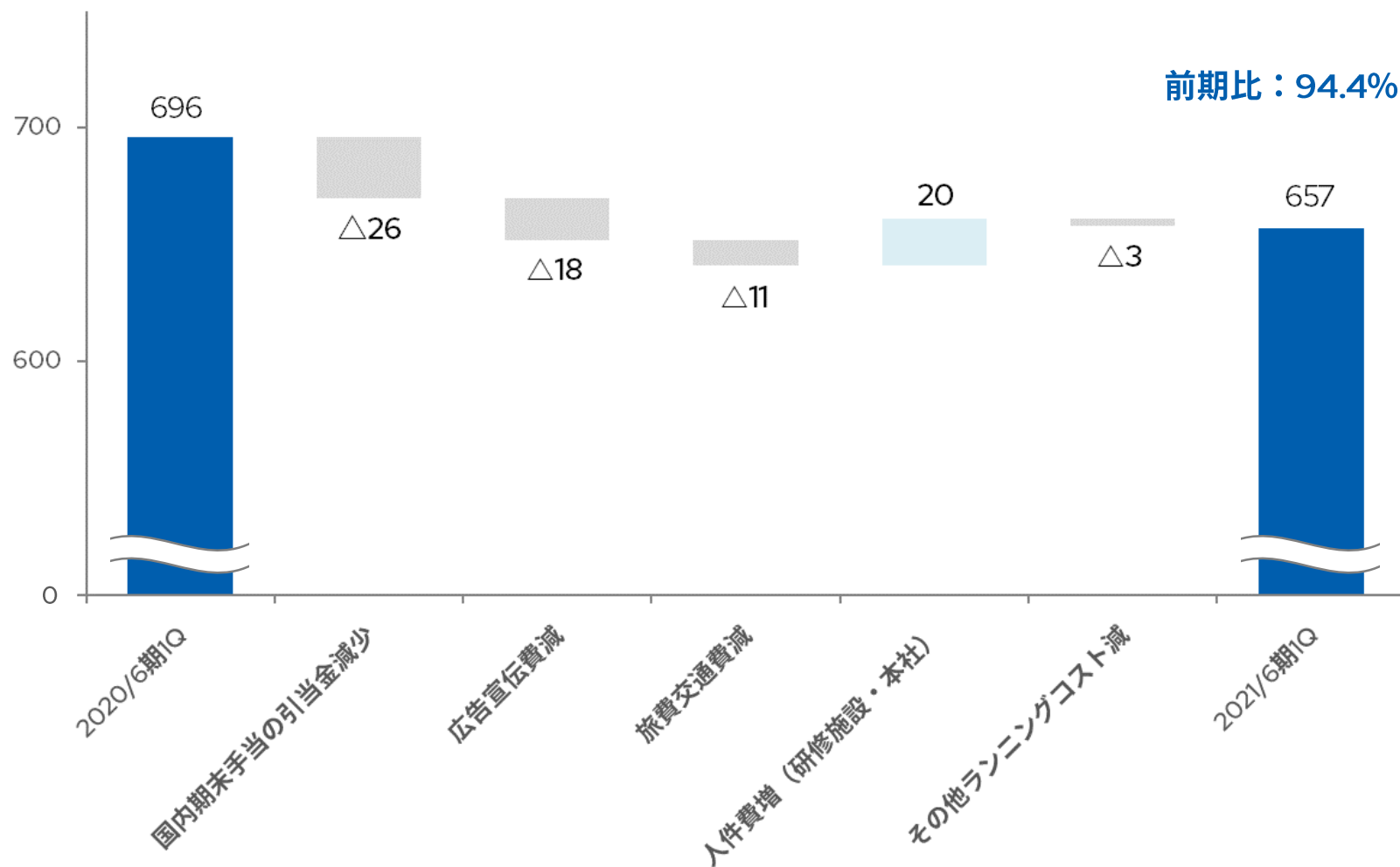
単位：百万円



販管費の増減分析

- 販管費は、販促活動の抑制（広告宣伝費減）、WEB会議システムの利用（旅費交通費減）等の本部運営コストの見直しにより、前期比39百万円の減少

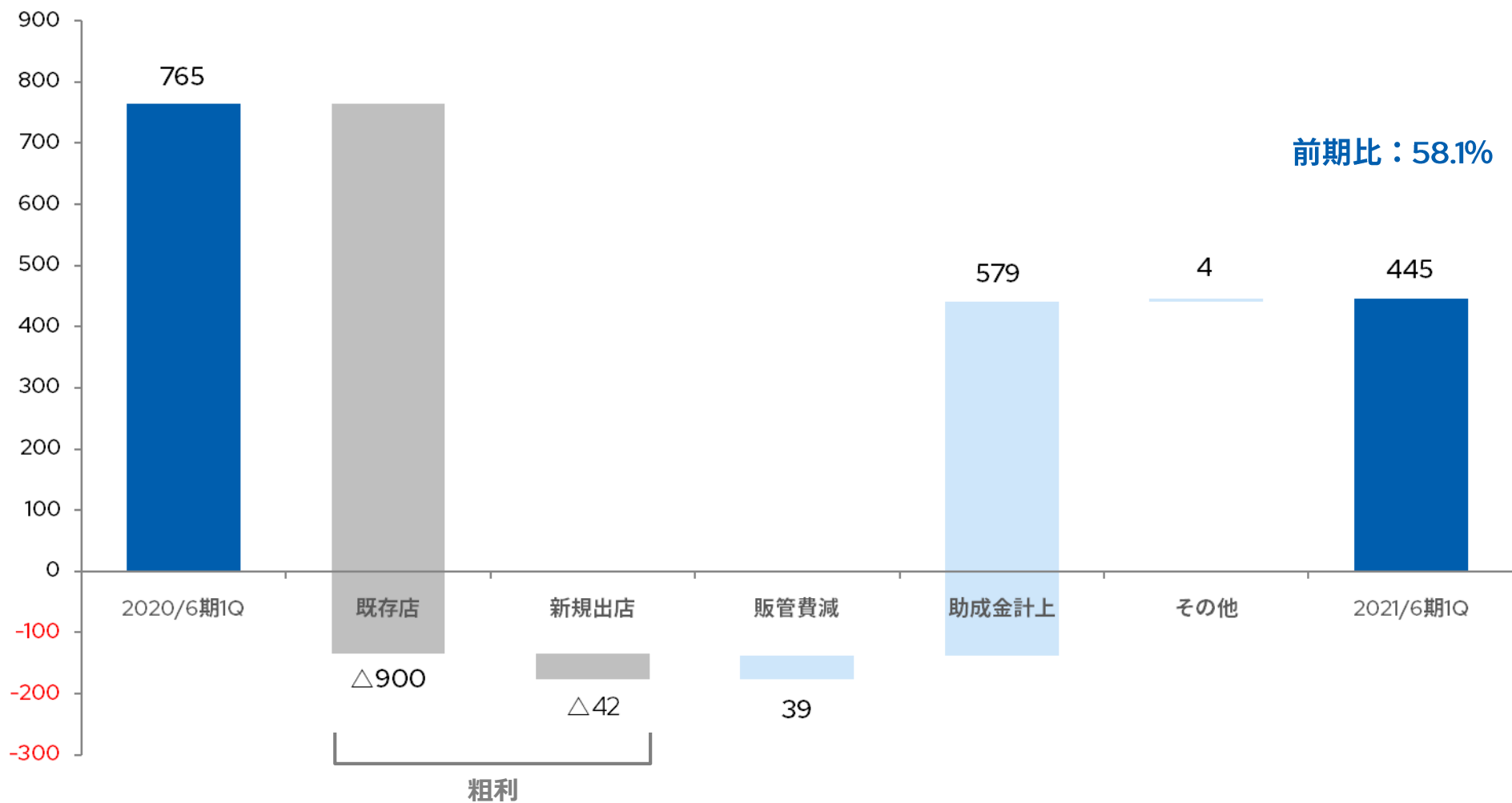
単位：百万円



営業利益の増減分析（前期比）

- 営業利益は、粗利の減益があったものの、休業期間中の給与を全額支給したことおよび従業員の雇用を維持したこと等に伴う国内・海外の助成金収入により、445百万円の黒字を確保

単位：百万円



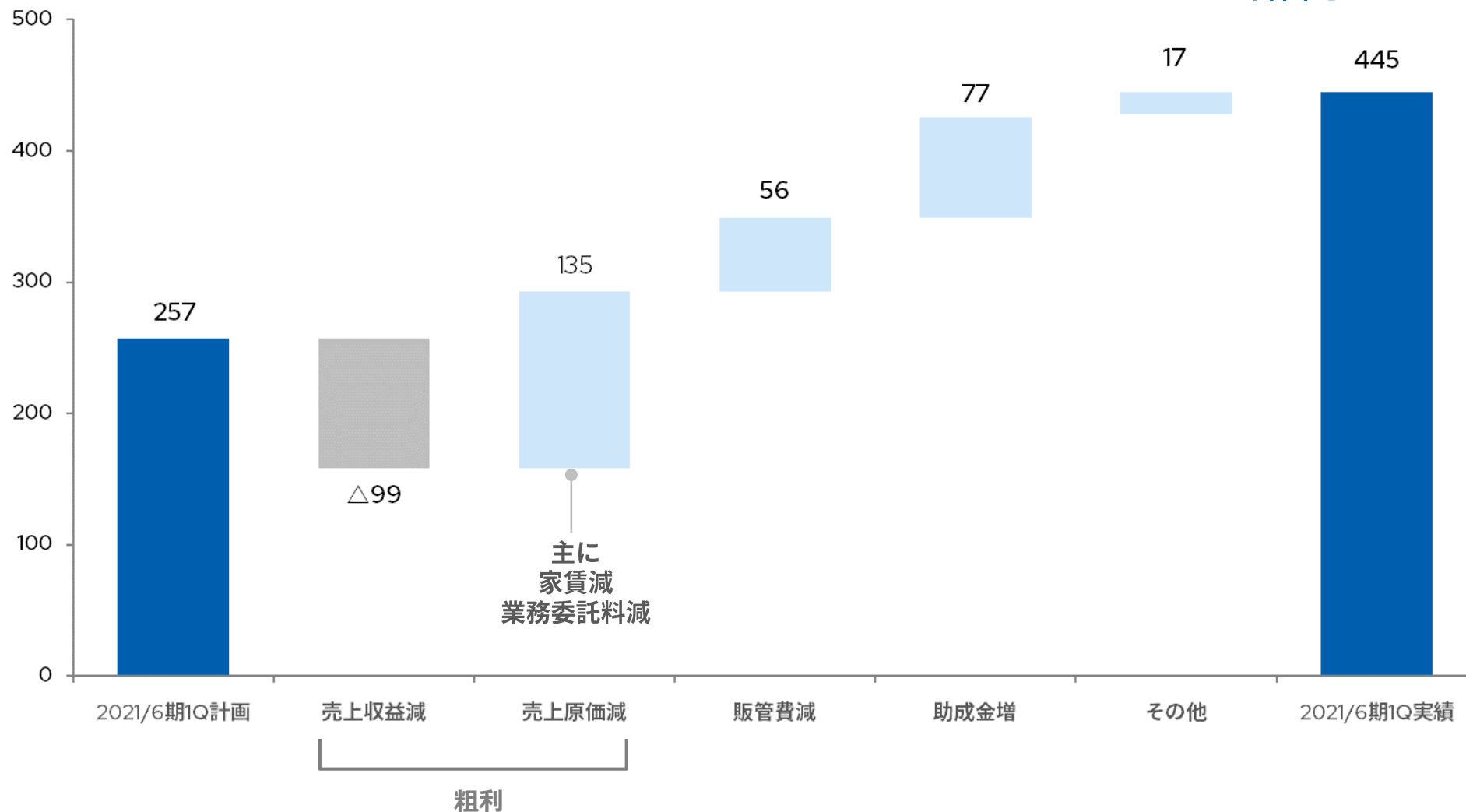
※新規出店は出店後13ヶ月未満の店舗

※助成金計上：国内481百万円、香港82百万円、シンガポール16百万円

【参考】 営業利益の増減分析（計画比）

- 第1四半期の営業利益は、売上原価および販管費等の運営コストの低減に加え、追加の助成金の受取り等により、計画比187百万円増
- 助成金は77百万円増（国内35百万円、香港25百万円、シンガポール16百万円）

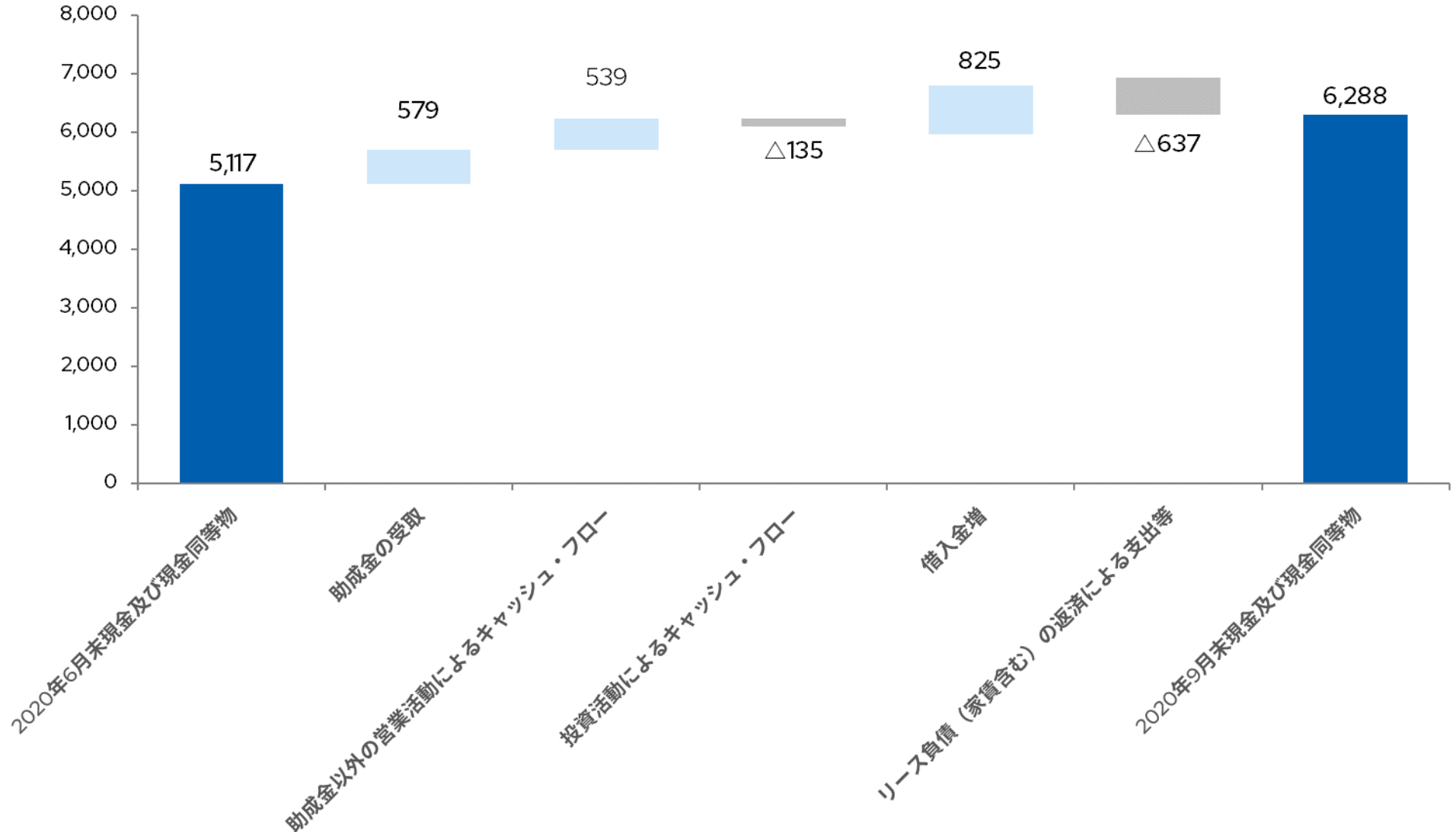
単位：百万円



【参考】 キャッシュ・フローの増減分析

- コミットメントラインの実行、助成金の受取り等により、手元資金は1,171百万円増

単位：百万円



2021年6月期 第1四半期の取り組み（サマリー）

国内

- QB HOUSEを5店舗新規オープン、移転1店舗、閉店2店舗
- 業務委託先の店舗を直轄（直雇用）へ契約変更**1店舗**
- 8月1日にロジスカットプロフェッショナルスタイリストスクール サテライト横浜校を開校（国内6ヶ所目）
- ブロック毎の人件費適正化と応援交通費の削減を目的として、人材確保が順調な地方から首都圏への転勤支援制度を拡充
- 店舗賃料の減賃交渉、各種経費削減実施
- 10月末に八重洲店（FC店・1997年オープン）を閉店し、統廃合

海外

- 香港：新店・閉店無し
- シンガポール：店舗統合による閉店1店舗
- 台湾：2店舗の新規オープン、移転1店舗、移転に伴う閉店1店舗
- アメリカ：出店・閉店無し、価格改定実施、
オンライン時間指定予約・指名制導入

	コロナ前	6/22再開	9月	11月
通常価格	20ドル	23ドル	23ドル	
オンライン予約			25ドル	25ドル

新店について

新店

(国内)

J R板橋駅 (東京)
ミーツ国分寺 (東京)
グランデュオ蒲田 (神奈川)
ららぽーと愛知東郷 (愛知)
J R吹田駅 (大阪)

(海外)

淡水 (台湾)
南京三民 (台湾)



12月オープン予定のイオンモール上尾店 (新ファサード)



南京三民店 (台湾)

新店・移転・閉店の実績

－ 7店舗の新店、2店舗の移転、5店舗の閉店（移転に伴う閉店を含む）

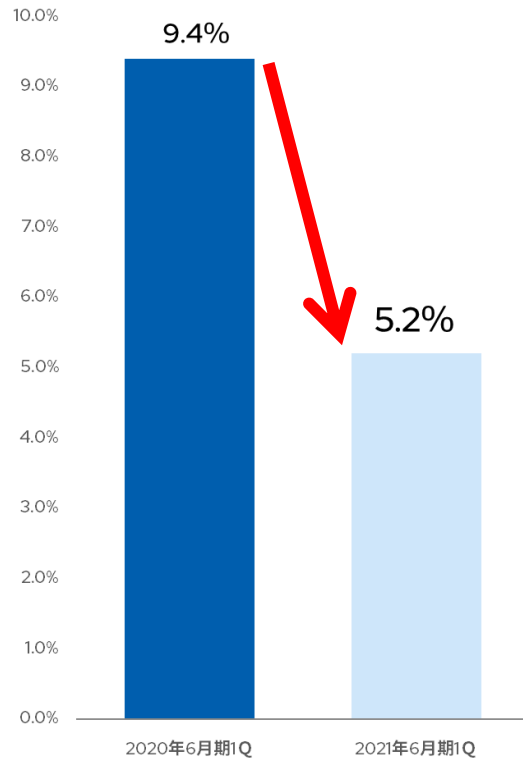
単位：店舗	業態	2020/6期末	新店	移転	閉店（※1）	増減	第1四半期末
日本	QB HOUSE	568	5	1	△2	4	572
	QB PREMIUM	1	0	0	0	0	1
	FaSS	13	0	0	△1	△1	12
国内小計		582	5	1	△3	3	585
シンガポール	QB HOUSE	26	0	0	△1	△1	25
	QB HOUSE Premium	7	0	0	0	0	7
	Kids	3	0	0	0	0	3
香港	QB HOUSE	63	0	0	0	0	63
	QB PREMIUM	1	0	0	0	0	1
台湾	QB HOUSE	29	2	1	△1	2	31
アメリカ	QB HOUSE	4	0	0	0	0	4
海外小計		133	2	1	△2	1	134
連結グループ合計		715	7	2	△5	4	719

（※1）閉店数は移転に伴う閉店を含む

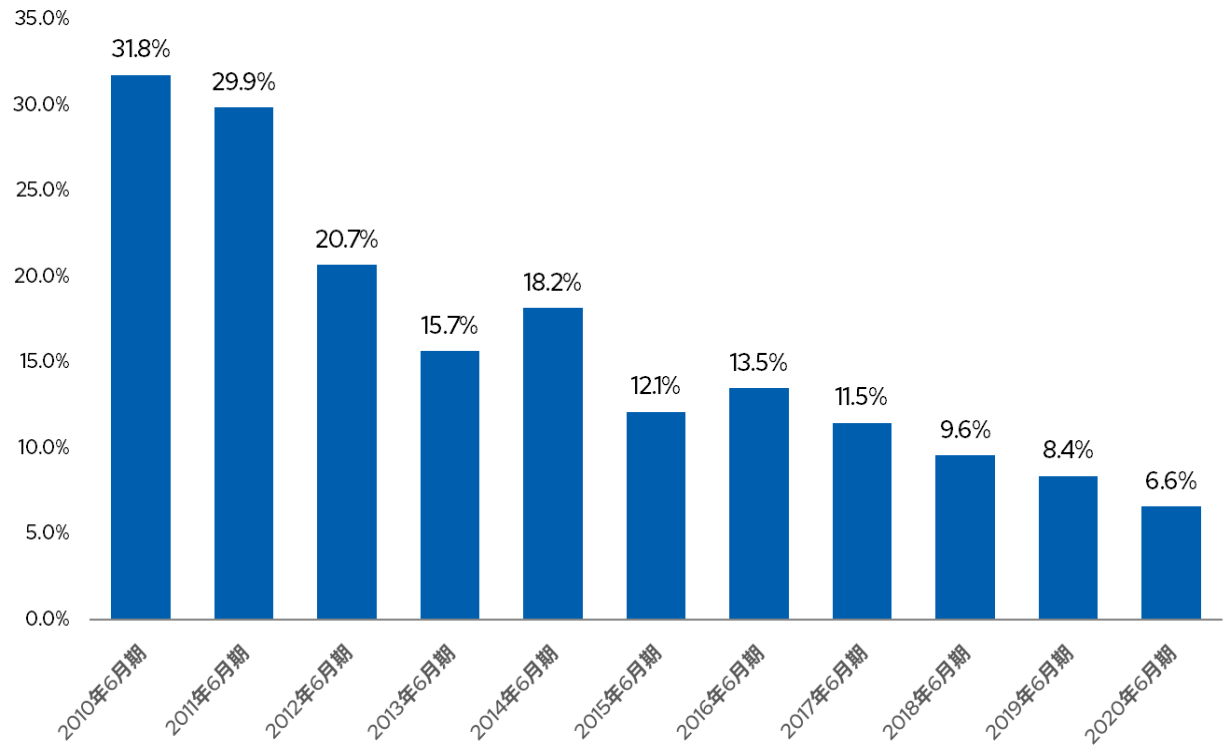
国内の正社員の退職率の推移について

- 国内正社員の1Qの退職率は、年率換算で5.2%（前年比4.2%ポイント減）
- 主に待遇改善策の実施、人事評価刷新、エリア細分化によるフォローアップ体制の強化
前期臨時休業期間中の全スタイリスト（パートを含む）の給料を残業代や時短分も含めて全て保証し、当社の価値の源泉である全従業員の雇用を維持

国内正社員の1Q 退職率（年率換算）



【参考】国内正社員の退職率の推移 （年間実績）

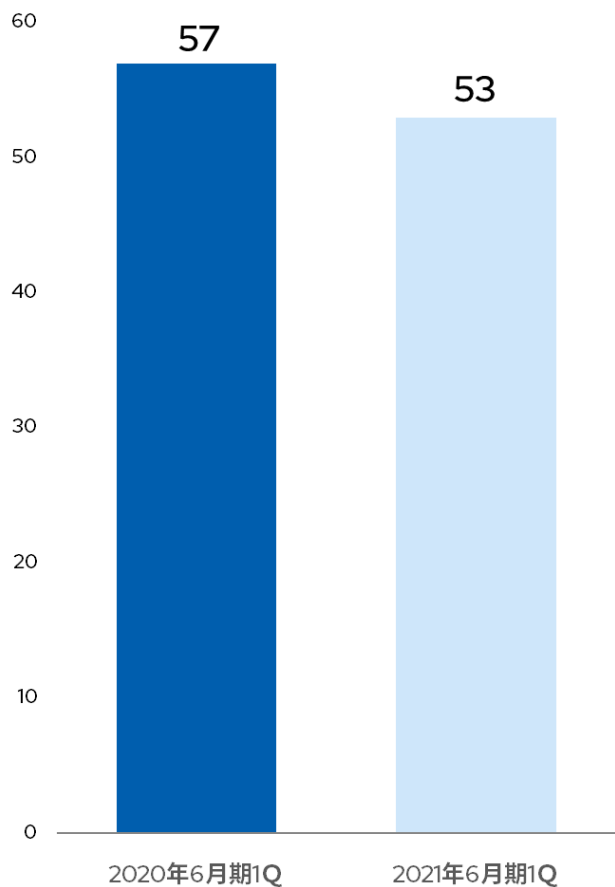


※本社は除く
※研修施設（ロジスカットプロフェッショナルスタイリストスクール）含む

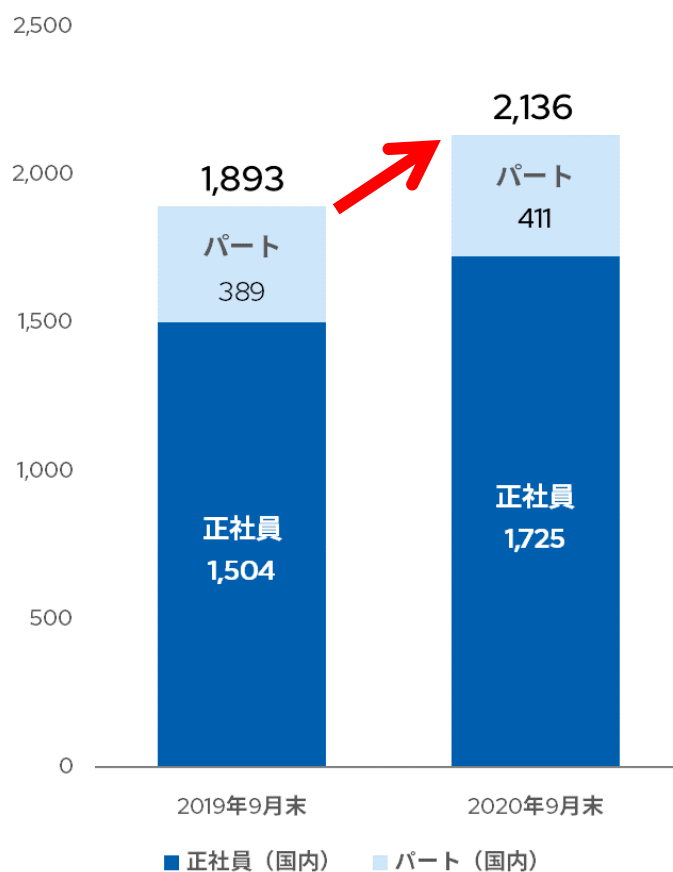
国内の従業員数（スタイリスト）について

- 国内正社員の採用数は、53人（前期比4人減、移籍除く）
- 国内の従業員数は、1年間で移籍も含めて243人（正社員221人、パート22人）の純増

単位：人 国内正社員の1Qの採用数



単位：人 2020年9月末の国内従業員数



※業務委託先店舗からの正社員の移籍を除く。
本社は除く。研修施設（ロジスカットプロフェッショナルスタイリストスクール）含む

※業務委託先店舗からの移籍を含む。
本社は除く。研修施設（ロジスカットプロフェッショナルスタイリストスクール）含む

2020年6月期 グループ連結業績概要

連結損益計算書

単位：百万円	2020/6期1Q		2021/6期1Q			
	実績	売上比	実績	売上比	増減額	前期比
売上収益	5,684	100.0%	4,615	100.0%	△ 1,068	81.2%
売上原価	△ 4,216		△ 4,091		124	97.0%
売上総利益	1,467	25.8%	523	11.4%	△ 943	35.7%
その他の営業収益	1		590		589	
販売費及び一般管理費	△ 696		△ 657		39	94.4%
その他の営業費用	△ 6		△ 11		△ 5	
営業利益	765	13.5%	445	9.6%	△ 320	58.1%
金融収益	4		3		△ 1	71.6%
金融費用	△ 38		△ 50		△ 11	129.5%
税引前利益	731	12.9%	398	8.6%	△ 333	54.4%
法人所得税費用	△ 243		△ 113		129	46.7%
当期利益	487	8.6%	284	6.2%	△ 203	58.3%

2020年6月期 グループ連結財務概要

連結財政状態計算書

単位：百万円	2020/6期 4Q末	2021/6期 1Q末	増減額
流動資産合計	6,544	7,703	1,158
現金及び現金同等物	5,117	6,288	1,171
営業債権及びその他の債権	775	786	10
棚卸資産	169	166	△ 3
その他	482	461	△ 20
非流動資産合計	26,176	25,998	△ 178
有形固定資産	1,857	1,819	△ 38
使用権資産	6,062	5,978	△ 83
のれん	15,430	15,430	-
その他の金融資産	1,856	1,854	△ 1
繰延税金資産	639	639	0
その他	330	274	△ 55
資産合計	32,721	33,701	979
負債合計	22,935	23,630	694
営業債務及びその他の債務	342	293	△ 48
有利子負債	14,532	15,363	831
リース負債	5,993	5,872	△ 121
その他	2,066	2,100	34
資本合計	9,786	10,070	284
負債及び資本合計	32,721	33,701	979

財務基盤の強化を目的とした
手元資金の確保

長期借入金返済 (△175百万円)
短期借入金増加 (1,000百万円)

家賃・リース料支払いによる
減少

2020年6月期 グループ連結財務概要

連結キャッシュ・フロー計算書

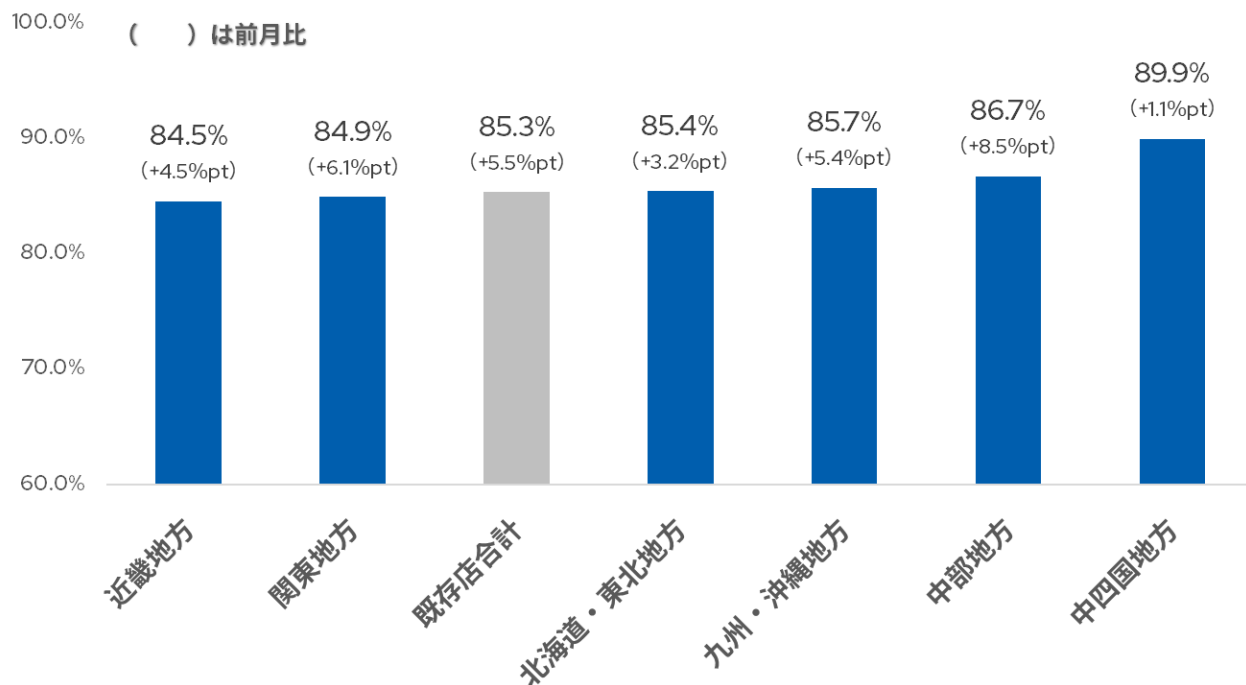
単位：百万円

	2020/6期1Q	2021/6期1Q	増減額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,030	1,118	88	
税引前利益	731	398	△ 333	
減価償却費及び償却費	782	817	34	期末の銀行休業日に伴う債権回収時期の差異
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	340	△ 6	△ 347	
利息の支払額	△ 35	△ 34	0	
助成金の受取額	-	579	579	国内キュービーネットの課税所得減少に伴う支払額減少
法人所得税の支払額	△ 449	△ 43	406	
その他	△ 338	△ 591	△ 252	助成金の減算調整等
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 150	△ 135	15	
有形固定資産の取得による支出	△ 114	△ 128	△ 13	
無形資産の取得による支出	△ 0	△ 0	0	
その他	△ 35	△ 6	29	
フリー・キャッシュ・フロー	879	983	104	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 703	203	907	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300	1,000	700	財務基盤の強化を目的とした手元資金の確保 (コミットメントライン)
長期借入金の返済による支出	△ 175	△ 175	-	
配当金の支払額	△ 224	△ 0	224	1株当たり配当額19円→0円
リース負債の返済による支出	△ 625	△ 660	△ 35	
その他	21	39	18	
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	167	1,171	1,003	
現金及び現金同等物の当期末残高	2,656	6,288	3,631	

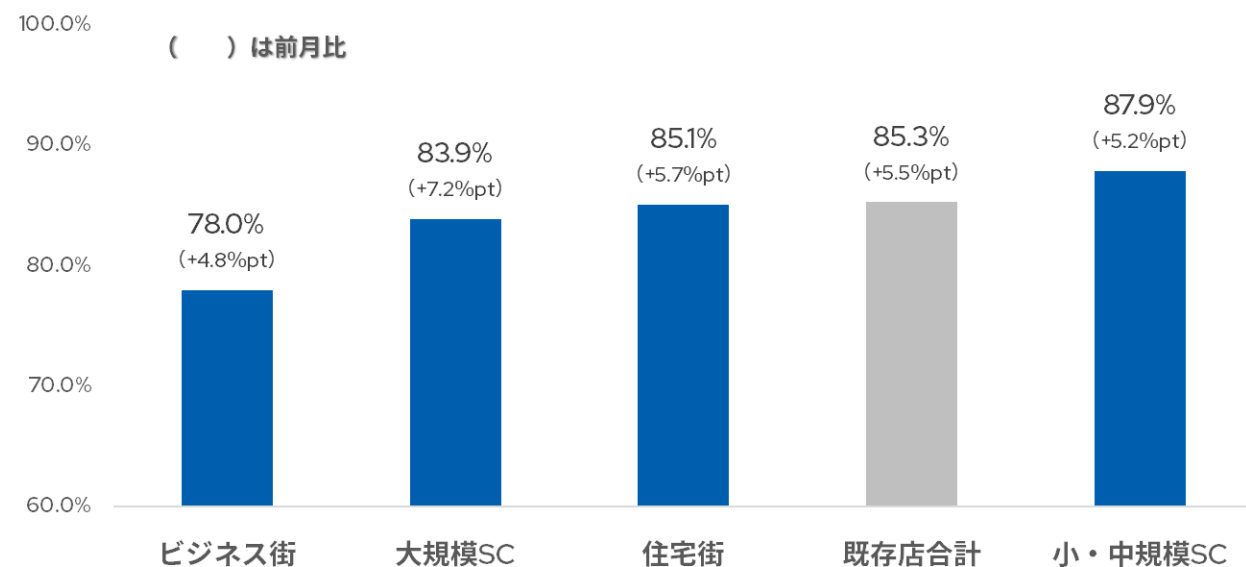
I 2021年6月期 第1四半期実績

II **新型コロナウイルスの影響**

2020年10月の来店客数の既存店前年比（足元の状況）について



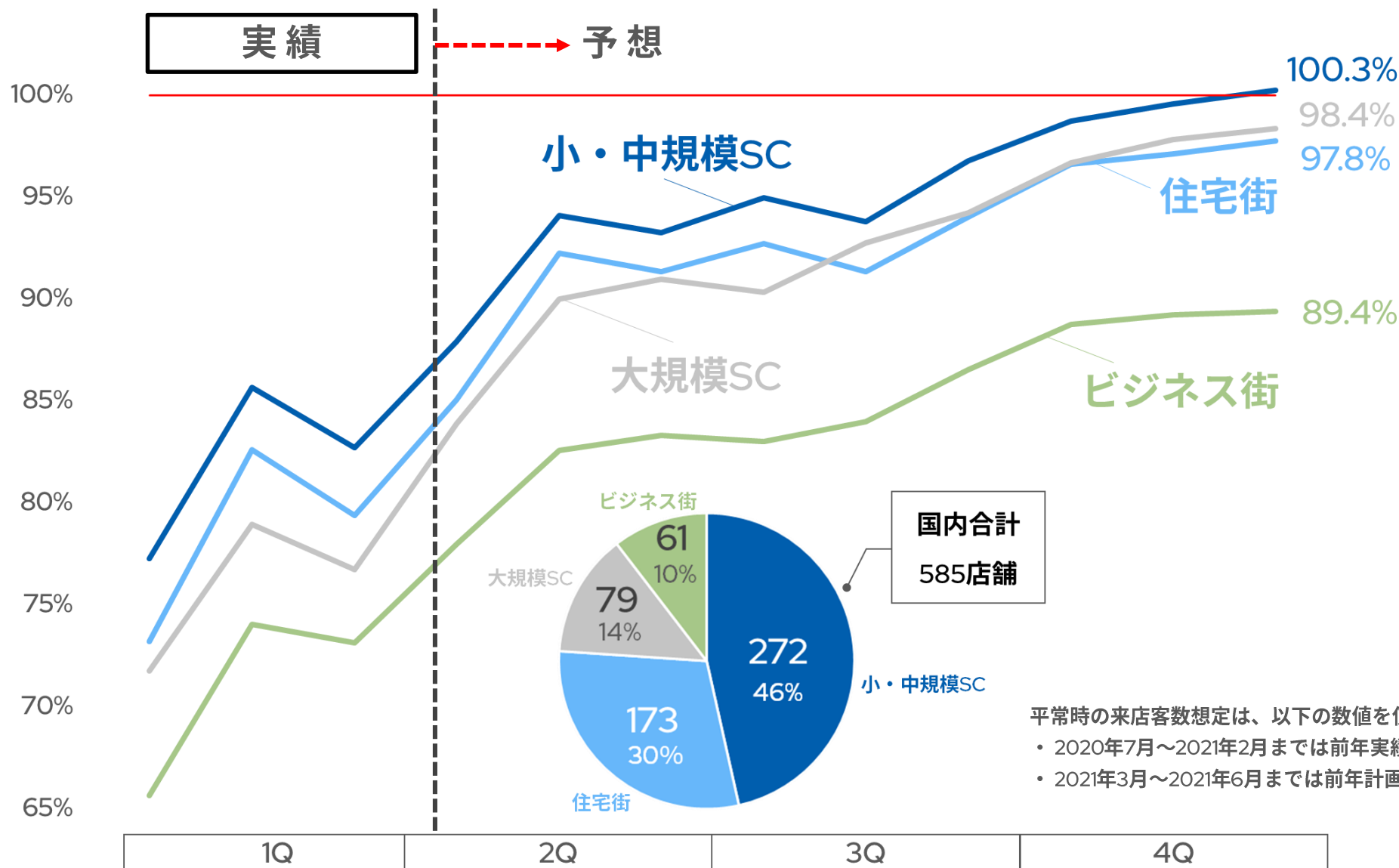
足元の10月実績
を見ると



9月よりも全ての
地域・立地で
改善傾向

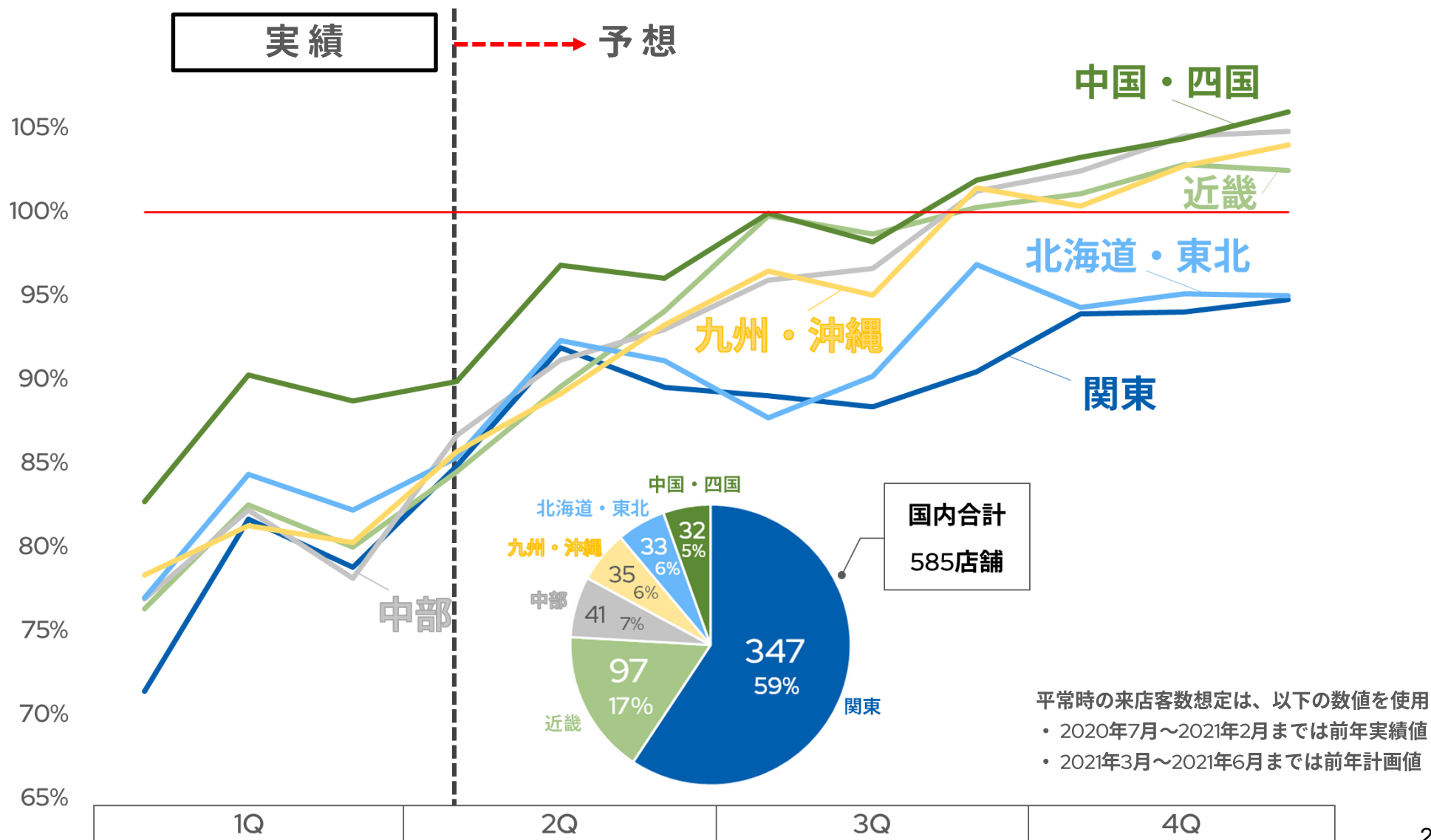
2021年6月期予想 国内の来店客数回復の想定（立地別）について

ビジネス街の店舗は回復に時間を要する。日常的に利用するショッピングセンターや住宅街の店舗は、2021年6月に向けて平常時に近い水準まで回復すると予想（変更無）



2021年6月期予想 国内の来店客数回復の想定（地域別）について

関東・北海道地方は回復に時間を要する。地方の中国・四国、中部、九州・沖縄、近畿地方は、2021年6月に平常時の100%以上の水準まで回復すると予想（変更無）



①テレワークや外出自粛等により、
カットサイクルが伸びている

②新規感染者数の継続に伴い、
子供の自宅カット等や60歳以上の
外出自粛による減少

①命の安全を何よりも最優先に考え、万全の感染防止策を実施

②デジタル技術を活用した積極的な変革を実施し、新たな事業機会を創出

③新型コロナウイルス年内再流行に備えた追加資金の確保とキャッシュフローの強化

感染拡大防止の取り組み：3密（密閉、密集、密接）に対する対応策について

お客様・従業員の安全を最優先に考え、3密（密閉、密集、密接）を防ぐ対応策を実施

① 密閉

【換気】サーキュレーター、ハイブリットファンの設置
定期換気



サーキュレーター



ハイブリットファン

② 密集

【待合席】間引き、飛沫防止シート（一部）

【待合システム】アナログ版待合記名式順番案内システム
時間予約システム

【キッズスペース】閉鎖

【カット席】飛沫防止シート



飛沫防止シート



アナログ版待合記名式

③ 密接

【施術中】マスク、フェイスガードの装着、使い捨てクシの破棄
手渡し禁止、消毒



受け渡しトレイ



フェイスガード

ITを活用した取り組み：QB PREMIUM、FaSSの新アプリによる予約システム

- 顧客情報のデジタル化・サービスクオリティのデジタル化
- FaSS・3店舗にて新アプリをテスト中（予約及び予約時のキャッシュレス対応・電子カットカルテ）

Point 1

店舗の今の待ち人数、
待ち時間がわかります。

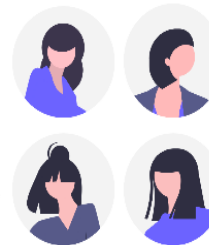


Point 2

電子カットカルテで
髪型を記録すると…

はじめてのお店でも
髪型を共有！

- バリカン
- バリカン
- ・生え際～側頭部にかけてバリカン使用
 - ・毛流れ：右側頭部付近がバックサイドへ向けて毛流が強い要注意
- 耳
- ・耳だしスタイル、生え際：衿付け無しナチュラルに仕上げ
- カリアゲ
- ・6mm～9mm～12mmのグラデーション
 - ・骨格：耳後ろ凹凸あり、カリアゲ時要注意
- モミアゲ
- ・高さ位置：耳半部、厚み：3mm～6mmのグラデーション
 - ・生え際：衿付け無しナチュラル仕上げ



Point 3

待ち時間なしで・・・

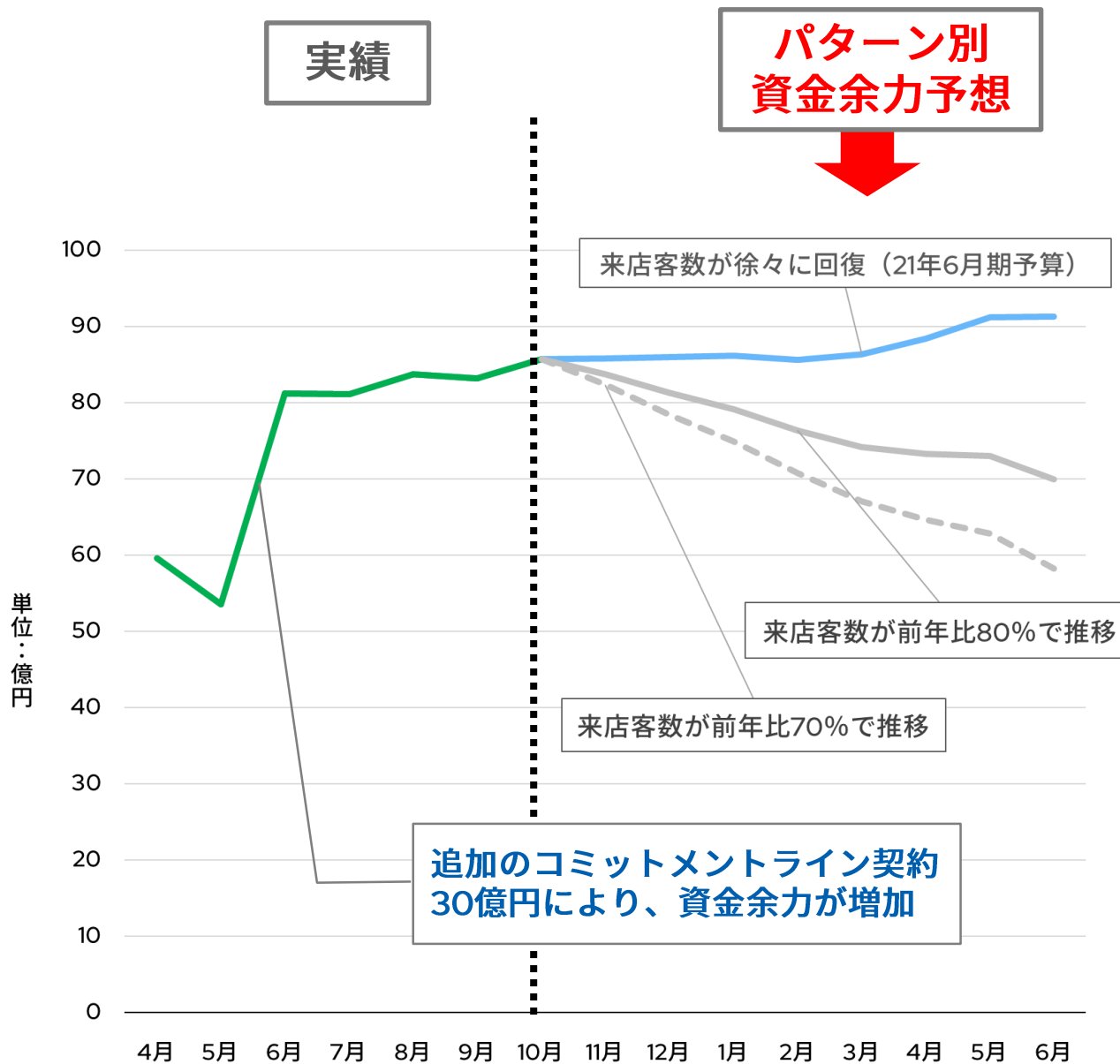
「日時指定」「すぐ予約」
ができます！



キャッシュレス決済

「キャッシュレス対応」と「決まった時間（待ち時間短縮）」による感染防止とサービス向上

資金の状況（連結）について



資金は概ね期初の計画通りに推移

10月末の手元資金(40億円)および
融資枠の未使用額(45億円)を合
わせた資金余力は85億円となり、
通常の間月連結経費16億円の
5倍の資金を確保できている

十分な資金余力があるものの、
融資枠のうち、60億円の**融資期限
が当期4Qに到来する**

コミットメントライン(短期借入)の
タームローン(長期借入)への借り替
えについて取引銀行と協議中

資金繰りの前提条件等

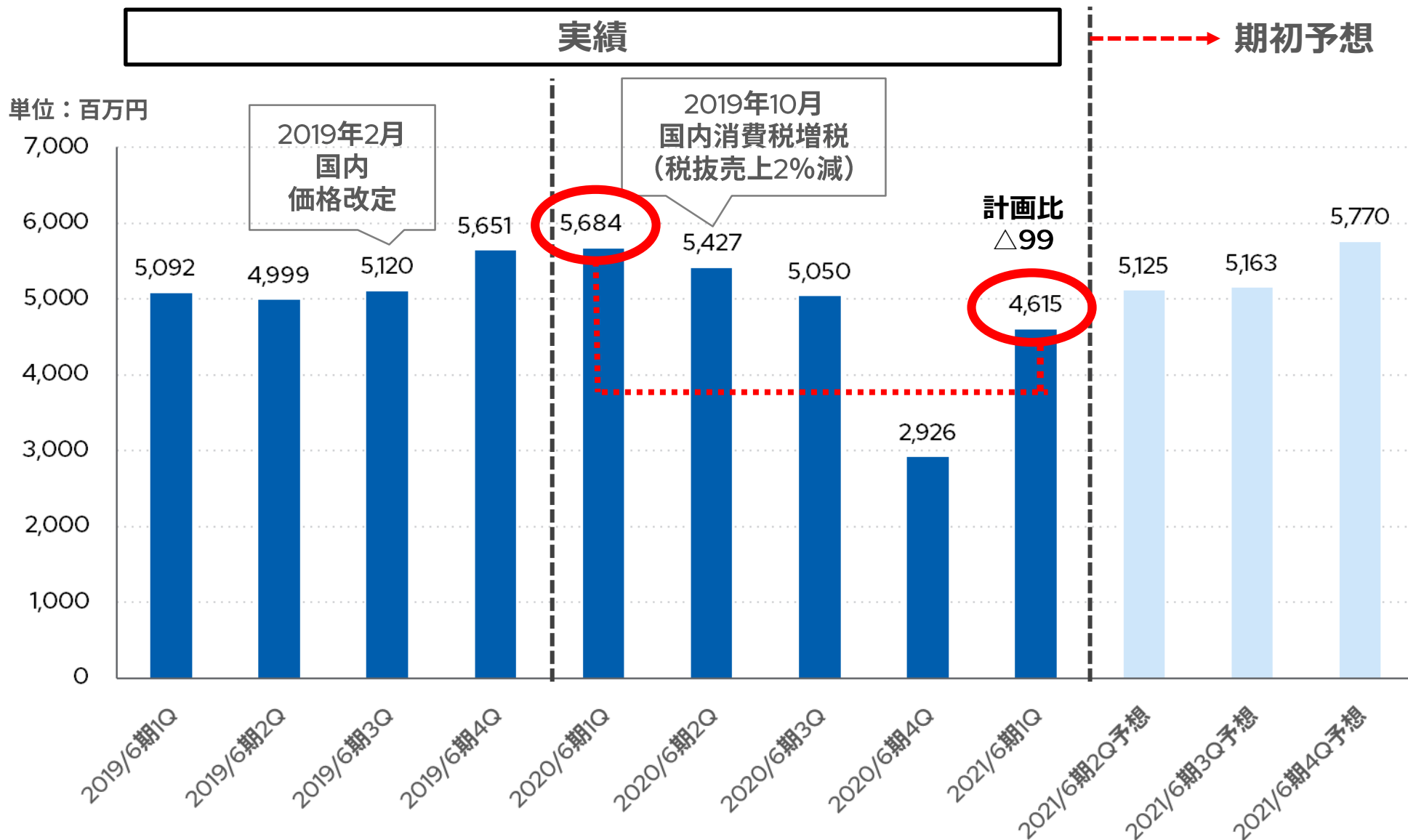
- ・ 手元資金およびコミットメントラインの未使用額を合わせた「資金余力」のパターン別シミュレーションを算定
- ・ 21年6月期予算の前提条件を使用
- ・ 海外数値は一定
- ・ 国内の来店客数は以下の3パターン
 - ① 徐々に回復し、来年6月にコロナウイルス感染拡大の影響がなかった場合の水準に戻る
 - ② 上述の前年比80%程度で推移する
 - ③ 上述の前年比70%程度で推移する

Appendix

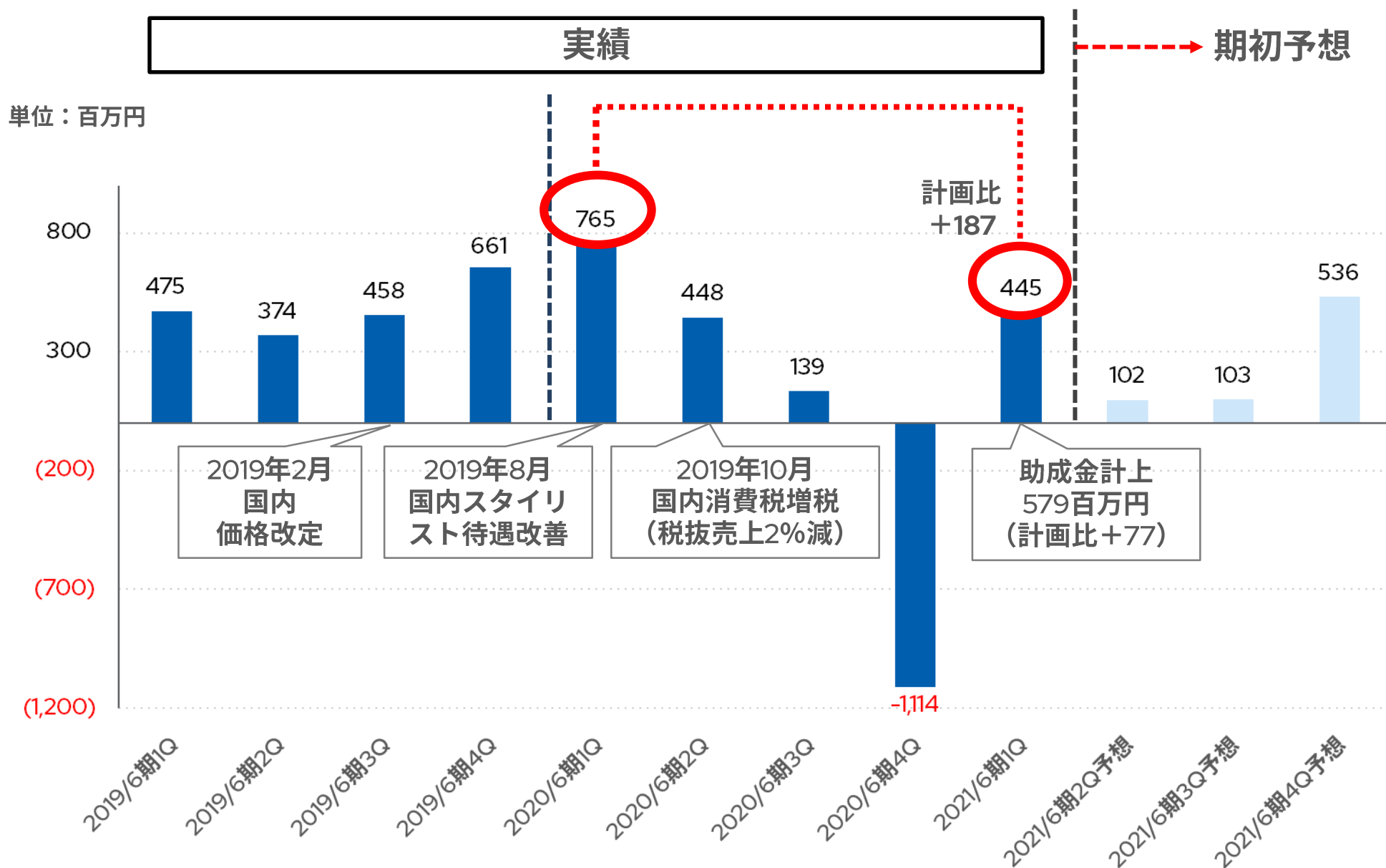
2021年6月期 通期業績予想の前提について

国内・海外	前提
国内	<p>【売上の設定】 上期はテレワーク等によりビジネス街の店舗の来店客数の戻りが弱いと予想。 新型コロナウイルスの影響は、緩やかに改善することを見込み、新型コロナウイルス感染拡大前の水準まで回復するには2021年6月までの期間を要するという考え方で策定</p> <p>【費用面】 コスト削減実施（社内イベント費用、会議費・交通費、調査費等の削減） 将来の成長に向けた投資は削減しない（ロジス研修費、新アプリの開発費・テスト費用、ブランドプロジェクト費用等）</p>
海外	<p>【香港】 国の対策が功を奏し、1日の新規感染者数が0人の日もあった。6月下旬頃からは再拡大の傾向であり、7月15日から18時～5時迄の店内飲食禁止の状況から、新型コロナウイルスの影響は、2020年秋頃まで見込む。</p> <p>【シンガポール】 国の管理体制が徹底されており、回復傾向にあることから、新型コロナウイルスの影響は、2020年秋頃まで見込む。</p> <p>【台湾】 海外渡航歴がある人を除けば新規感染者0人が継続するなど、平常運営であることから、新型コロナウイルスの影響は見込まず。</p> <p>【アメリカ】 新型コロナウイルスの影響は、足元の状況から2021年6月まで見込む。</p>

四半期毎の売上収益（連結）の推移について



四半期毎の営業利益（連結）の推移について



2021年6月期出店計画

単位：店舗	業態	2020/6期末	新店	移転	業態変更	閉店	増減	2021/6期末
日本	QB HOUSE	568	13	4		△14	3	571
	QB PREMIUM	1	1	0		0	1	2
	FaSS	13	1	0		△1	0	13
国内小計		582	15	4		△15	4	586
シンガポール	QB HOUSE	26	0	0	△3	△1	△4	22
	QB HOUSE Premium	7	1	0	3	0	4	11
	Kids	3	0	0	0	0	0	3
香港	QB HOUSE	63	4	0		0	4	67
	QB PREMIUM	1	0	0		0	0	1
台湾	QB HOUSE	29	5	1		△2	4	33
アメリカ	QB HOUSE	4	0	0		0	0	4
海外小計		133	10	1		△3	8	141
連結グループ合計		715	25	5		△18	12	727

(※) 閉店数は移転に伴う閉店を含む

本プレゼンテーション資料は、当社及びその子会社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、売買の勧誘を構成するものではありません。

本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。



QBHOUSE
GLOBAL



QBハウスの
訪問理美容サービス

